

実習科目	単位	時間数	対象学年	単位認定者
母性看護学実習	2 単位	90 時間	2 年次	高松三穂子
実習概要 女性のライフサイクルの変化と家族のライフサイクルとの関連より健康上の問題を総合的にアセスメントし、必要な看護の実践ができることが目標である。そして、妊娠・分娩・産褥、子育てをとおして一人の女性が母親として成長・自立できるような援助ならびに新生児の看護を実践するために必要な技術の習得を目指す。				
科目目標 妊娠・出産・育児に関わる対象と家族への看護実践を学ぶと共に、健康の保持増進に必要な看護が実践できる能力を養う。				

実習計画

実習場所・時間	内容及び方法
病院実習 60 時間	妊娠期、分娩期、産褥期および新生児の正常な経過が理解するために、産後の母子を1組として、受け持ち、妊婦、産婦、褥婦および新生児に必要な援助を実施する。そして、妊婦、産婦、褥婦および新生児が正常な経過をたどるための日常生活に必要な保健指導を行う。また、妊娠期、分娩期はそれぞれの実習場所にて、健診や保健指導、分娩時の看護を見学または一部実施することで、理解を深める。
育児支援実習 22.5 時間	乳幼児や家族（母親）が来館して、関わっている場面を見学し、母子相互作用や母子関係形成について学びを深める。また、子どもとの遊びや身体計測を通し、子どもの身体・精神・社会的成長発達について理解する。そして、児や母親と職員の様子を観察し、育児指導の実際を通し、子どもの健やかな成長発達のための支援について理解する。
学内実習 7.5 時間	肥満・過剰体重増加妊婦、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病等の妊産褥婦に対する病態生理が理解し、保健指導を通してどのように健康問題に対して予防的な援助を行っているか実習記録にまとめ、正常から逸脱した妊産褥婦に対する看護について理解できる。
備考 実習施設は実習要項参照。	